



## 熊本哲也教授

### 略歴

北海道旭川市出身。

1978年 東北大学文学部 入学

1983年 東北大学大学院文学研究科博士課程前期（フランス文学専攻）入学

1989年－1990年 フランス・ニース大学 DEA 第三期課程入学一修了

1992年－1994年 スイス・ジュネーブ大学 DES 高等研究課程入学一修了

1996年 東北大学大学院文学研究科博士課程後期 単位取得満期修了

1996年 東北大学文学部フランス文学専攻助手

1998年 岩手県立大学社会福祉学部（言語文化センター）講師 着任

2003年 岩手県立大学社会福祉学部 助教授

2005年 岩手県立大学共通教育センター 准教授

2014年 岩手県立大学高等教育推進センター 准教授

2022年 岩手県立大学高等教育推進センター 教授

現在に至る

### 実務経験

1997－1998年 東北大学文学部フランス文学研究専攻助手

1999－2003年 東北大学非常勤講師

2005－2023年 岩手大学非常勤講師

### 主な学会役員等

- 2004－2006年 日本フランス語フランス文学会 広報副委員長  
 2006－2008年 日本フランス語フランス文学会 語学教育委員長  
 2008－2015年 学会誌（「日本フランス語フランス文学研究」）編集委員、  
 18世紀部会世話人  
 2018－2020年 日本フランス語フランス文学会東北支部支部長  
 2019－2021年 同学会北海道・東北支部合併ワーキンググループ座長

### 学内実務・役員など

- 2005年 岩手県立大学公開講座「ドキュメンタリー映画のリアリティーに関して」  
 2023年 岩手県立大学高校講座「EUとSDGsの歴史—達成率順位の各国比較—」  
 2021－2023年 高等教育推進センター 国際教育研究部長

## 研 究 業 績

### 学術論文

題 名	単著、 共著の別	発行年月	掲載誌の 名称	発行所の 名称	特記事項 または 掲載頁
1. 『孤独な散歩者の夢想』における「償い」の問題	単著	1988.3	フランス文学研究	東北フランス文学研究会	不明
2. ルソーの音楽にみられる両義性について	単著	1990.3	フランス文学研究	東北フランス文学研究会	不明
3. 『告白』におけるルソー的音楽の表象性について	単著	1991.3	フランス語フランス文学研究59号	日本フランス語フランス文学会	pp.6-15
4. ルソーにおける音楽論的メモリス	単著	1992.3	フランス文学研究	東北フランス文学研究会	不明
5. ヴィクトル・セガレンの『ルネ・レイス』或いは<内部の帝国>の逸失	単著	1993.3	フランス文学研究	東北フランス文学研究会	不明

学術論文

題名	単著、 共著の別	発行年月	掲載誌の 名称	発行所の 名称	特記事項 または 掲載頁
6. 野生人の「恐怖」の言葉についての考察—ルソーの〈言語危幻論〉	単著	1996.9	文化60号	東北大学文学部	pp.144-158
7. Le “topos” de l’île chez Rousseau et le roman “Robinson Crusoé”	単著	1997	Études de langue et littérature françaises n. 70	Société de langue et littérature françaises	pp.42-54
8. 『エミール』に現れた表象としてのロビンソンの〈島〉	単著	2001.1	「言語と文化」、第3号	岩手県立大学言語文化センター	pp.35-50
9. 恐怖の物語 (Histoire de peur): ニコラ・アブラアム, アリア・トロック著, 『表皮と核』から (フロイトの恐怖症についての再解釈)	単著	2001.3	Bulletin of the Faculty of Social Welfare, Iwate Prefectural University nr.3	岩手県立大学社会福祉学部	pp.43-52
10. 「盗まれたリボン」を読む—『告白』の一挿話〈マリオンのリボン〉を巡っての死の解釈	単著	2002.3	岩手県立大学社会福祉学部紀要第5巻第1号	岩手県立大学社会福祉学部	pp.11-26
11. フランスにおける介護給付制度の動向について	単著	2003.10	岩手県立大学社会福祉学部紀要第6巻第1号	岩手県立大学社会福祉学部	pp.11-17
12. La révision de l’enseignement du FLE à l’aide de l’ordinateur multimédia	共著	2006.3	『リベラル・アーツ』創刊号	岩手県立大学共通教育センター	pp.83-91 辻野俊哉
13. フランソワ・トリュフォーの映画作品における「愛のまなざしと映画」のテーマについて	共著	2007.3	『リベラル・アーツ』第2号	岩手県立大学共通教育センター	pp.65-76 パトリス・ブゴン

学術論文

題名	単著、 共著の別	発行年月	掲載誌の 名称	発行所の 名称	特記事項 または 掲載頁
14. ロメールの『友達の恋人』における欲望の交錯とシンメトリー	単著	2009.1	『リベラル・アーツ』第3号	岩手県立大学共通教育センター	pp.29-39
15. ジャン・ルノワールの作品における「窓」の表象に関して：第二次大戦前の『牝犬』、『ピクニック』、『大いなる幻影』の三作品における「窓」の表象の変遷	単著	2011.1	『リベラル・アーツ』第5号	岩手県立大学共通教育センター	pp.13-24
16. ルソーの音楽美学における「関心」と「イリュージョン」について	単著	2013.1	『リベラル・アーツ』第7号	岩手県立大学共通教育センター	pp.21-31
17. 18世紀美学とルソーの音楽論：ルソーのオペラ論における「関心」と「イリュージョン」について	単著	2013.5	日本フランス語フランス文学会東北支部会報 Nord-Est 5-6	日本フランス語フランス文学会東北支部	pp.56-58
18. ジャン＝ジャック・ルソーにおける政治論、化学論の間にある横断的概念について：rapportの概念を中心として	単著	2015.1	『リベラル・アーツ』第9号	岩手県立大学高等教育推進センター	pp.83-93
19. 小津安二郎の『東京物語』における反復的時間と不可逆的時間	単著	2016.3	『リベラル・アーツ』第10号	岩手県立大学高等教育推進センター	pp.101-114
20. ルソーの『言語起源論』を中心とする「機会原因」の観念に関して	単著	2017.12	『リベラル・アーツ』第12号	岩手県立大学高等教育推進センター	pp.1-13
21. 自己表現主体の外国語教育と海外研修の取組	単著	2019.8	北海道地区大学等高等・共通教育研究会研究集録69号	東北・北海道地区大学等高等・共通教育研究会	pp.62-65
22. ルソーにおける存在論的（照応的）真理と認識論的真理について：「真理」と「真実」という同義語の視点から	単著	2020.12	『リベラル・アーツ』第15号	岩手県立大学高等教育推進センター	pp.21-42

学術論文

題名	単著、 共著の別	発行年月	掲載誌の 名称	発行所の 名称	特記事項 または 掲載頁
23. ルソーにおけるパレーシアと証言の真実：ルソーの座右の銘を巡って	単著	2021.8	日本フランス語フランス文学会東北支部会報 Nord-Est 12-14	日本フランス語フランス文学会東北支部会	pp.8-13
24. 宮崎駿作品における「飛行」「落下」「飛ぶ夢」のテーマ分析—『風立ちぬ』、『魔女の宅急便』を中心に—	単著	2022.3	『リベラル・アーツ』第16号	岩手県立大学高等教育推進センター	pp.33-49
25. ルソーにおける「光」と「闇」に関して：啓蒙・盲人・夜遊び	単著	2024	日本フランス語フランス文学会北海道・東北支部会報 Nord-Est 17	日本フランス語フランス文学会北海道・東北支部会	不明

著書・翻訳・教科書等

題名	単著、 共著の別	発行年月	発行所 または 掲載誌	共著者	特記事項
1. カドラージュCadrage	共著	2005.4	駿河台出版社	辻野俊哉	
2. ニコラ・アブラアム、マリア・トロック著『表皮と核』	共訳	2014.3	松籟社	大西雅一郎、山崎冬太、阿部宏慈、梅木達郎	
3. 「教員養成における教育関係論とルソーの『エミール』における関係論に関して」、『教員養成を問い直す』	共著	2016.3	東洋館出版社	下司昌、関根宏朗	
4. 「ことば」と「教育」	共著	2017	岩手県立大学高等教育推進センター基盤教育部	阜山大	

著書・翻訳・教科書等

題名	単著、 共著の別	発行年月	発行所 または 掲載誌	共著者	特記事項
5. フランス語初級教科書『Quoi de neuf? 図解明快フランス語』	共著	2018.3	朝日出版社	辻野俊哉	
6. 『ルソーの思想における言葉ともの』	単著	2024	駿河台出版社		

書評・報告

題名	単著、 共著の別	発行または 発表の年月	発行所または掲載誌	共同研究者 特記事項
1. 書評：ピエール・バイヤール著『「危険な関係」のパラドックス』	単著	1992.3	東北大学フランス文学研究会	
2. 18世紀美学とルソーの音楽論：ルソーのオペラ論における「関心」と「イリュージョン」について	共著	2013.5	日本フランス語フランス文学会東北支部会報 Nord-Est 5-6	逸見龍生、阿尾安泰
3. 証言と真実シンポジウム：ルソーにおけるパレーシアと証言の真実：ルソーの座右の銘を巡って	共著	2012.8	日本フランス語フランス文学会東北支部会報 Nord-Est 12-14	中里まき子
4. (話題提供)自己表現主体の外国語教育と海外研修の取組	単著	2019	北海道地区大学等高等・共通教育研究会研究集録69号収録	
5. 書評：『人間不平等起源論・他』の翻訳（坂倉裕二訳）に関して	単著	2017	十八世紀学会紀要32	

学会発表

題名	単独発表、 共同発表 の別	発行年月	発表学会	共同発表者名
1. ルソーの『孤独な散歩者の夢想』における「償い」の構造	単独	1987.10	日本フランス語フランス文学会東北支部大会	
2. ルソーの音楽論に見られる表象性について	単独	1988.10	日本フランス語フランス文学会全国大会秋季大会	
3. 『エミール』と小説『ロビンソン・クルーソー』について	単独	1995.10	日本フランス語フランス文学会東北支部大会	
4. ルソーの『エミール』における島のトポスと小説『ロビンソン・クルーソー』	単独	1996.10	日本フランス語フランス文学会全国大会季期大会	
5. ルソーの『告白』における女性たちについて	単独	2010.9	岩手大学・ボルドー大学国際シンポジウム「女性、ヒロイン、社会」	
6. ワークショップ：ルソーからの読解 — 18世紀の語るもの：「ルソーの音楽論における「関心」と「イリュージョン」に関して」	共同	2012.11	日本フランス語フランス文学会平成24年度秋季大会（神戸大学）	増田真、阿尾安泰
7. シンポジウム『ルソー、デイドロ、フランス18世紀』：「ルソー、デイドロ、イリュージョン」	共同	2013.11	日本フランス語フランス文学会東北支部平成24年度支部大会シンポジウム	逸見龍生、阿尾安泰
8. ルソーにおける「善き市民像」と「一般意志」の生成過程に関して	単独	2015.10	日本認知科学会「文学と認知・コンピュータⅡ研究分科会」(LCCII)	
9. ルソーにおける「パレーシア」—証言の真実—	単独	2018.10	日本フランス語フランス文学会東北支部大会	
10. ルソーの「光」と「闇」のテーマに関する考察：盲人・遊び・反啓蒙（招待講演）	単独	2023.11	日本フランス語フランス文学会北海道・東北支部大会	

\*その他の業績については省略する。